

3年生は 公立高校入試に 1・2年生は 学年末考査に 全力投球!

自ら学ぶ・ともに学ぶ 鴨中スタイル

3年生の多くの生徒が、第一志望校としてチャレンジする県立高校一般入試まであと1週間になりました。時間を大切にして、できる準備に全力を注ぎましょう。選考のための検査は、5教科の筆記試験と面接です。すでに進路先の決まった人も、1時間の授業や1枚のプリントを大切にして、同級生とともに頑張り、友だちの挑戦を応援してください。

1、2年生は明日、明後日は学年末考査です。実技教科も含めて1年の締めくくりのテストです。どの教科もしっかり復習して試験に臨みましょう。2月27日には、3年生が1、2年生の学級を出向いて、先月、高校入試に向けてエールを贈ってくれたお礼に、感謝と激励のメッセージを届けました。

「学年を越えて互いに励まし合う」、「先輩も後輩もともに勉強に打ち込む」こうした態度も素敵な『鴨中スタイル』だと感じました。



自主学習ノート頑張っている生徒たちから 全校の皆さんへ [part 3]

宿題の有無にかかわらず、自分から進んで予習したり復習したりする力をつけてほしいと考え、全学年で「自主学習ノート」に取り組んでいます。継続している人は、自主学習が習慣となり、少しずつ学力の向上につながりつつあると思います。間もなく始まる学年末考査を前に、鴨方中学校だより28号、29号に続いて、わかりやすく整理してまとめている人たちは、どのように取り組み、習慣化させているのか、2年生の中でよく頑張っている8人の生徒に、取組の様子を聞いてみました。是非参考にしてください。

Q.「自主学習ノートの取組で、あなたが心がけていることは何ですか?」(写真 後列の右から)

A[三宅哲]「意味のある自主学習にしようと思っている。単純な書き写しで済ませないように気を付けている。」

A[三宅湧]「まず復習として教科の基礎的なことをまとめる。色付けをしてわかりやすくなるようにしている。そして、何日か後にその教科の応用問題をやってみる。」

A[濱田]「その日に習ったことをまとめ、わからないところを再度調べるようにしている。」

A[横山晴]「1ページは、分からなかったところをもう一度自分の言葉でまとめている。もう1ページは将来のために専門的な問題に挑戦している。毎日2ページ取り組んでいる。」

A[柴田]「分からない教科を重点的に復習している。授業ノートや教科書を見てもう一度まとめている。」

A[片山]「その日に習ったこと、わからないところをまとめている。ワークの問題を解きなおすこともある。」

A[友宗]「苦手な教科を中心にまとめている。まとめていると自分の苦手なところや忘れていたところによく気がつくので、そこを復習している。」

A[鳥居]「その日に習ったことをまとめている。テストの後は、間違えたところをまとめている。」

Q.「友達に、自主学習ノートを続けていくためのポイントを伝えてください。」

A[三宅哲]「今日はどうしようと困ったときは、自分の好きな教科から復習を始めましょう。」

A[三宅湧]「続けていくと、自主学習ノートに取り組んでよかったと気づき、ノートの良さを味わえます。」

A[濱田]「その日に習ったことを自主学習ノートに書き写すだけでも役に立ちます。」

A[横山]「将来の自分の夢を明確にもつと、夢をかなえるために頑張りたくなります。」

A[柴田]「まず簡単などころからスタート。1ページ一杯できないときでも続けていくことが大切です。」

A[片山]「完璧なノートにならなくてもよいので、まずは自分の言葉でまとめていきましょう。」

A[友宗]「文章を書くだけでなく、表やグラフ、図形を描いても復習になることがあります。やり方の工夫です。」

A[鳥居]「将来の夢をもつようになって、今の自分への危機感が募り、頑張れるようになりました。」

8人の皆さん、ありがとう。前号の人たちもそうでしたが、今回の8人も日々の生活の中で自主学習を習慣化させていることに感心しました。皆さんも是非参考に、継続して取り組んでください。必ず大切な力がついていくと思います。



★3月の目標は「感謝とまとめ」

◇毎日「ありがとう」の言葉が使えていますか。

◇感謝の気持ちを相手にきちんと伝えられていますか。

◇1年間または中学校生活のまとめができていますか。

◇苦手教科を克服し 学習の総復習ができていますか。

継続して取り組んでいる証のシールが一杯貼られた「自主学習ノート」